

個人戦の運営について

<競技上の注意>

- 1 本部より、試合の順番が近い選手をアナウンスしますので、本部横の「選手控え席」で待機してください。
- 2 タイムテーブルの1順目は割り当てられたコートとなりますが、2順目以降は、空いたコートに左上から順に入れていく方式とします。
タイムテーブルは変更する場合がありますので、アナウンスをよく聞いてください。
- 3 初戦につきましては3分間の練習時間を設ける。
- 4 ファイナルゲーム前のみ2分以内のインターバルを認めます。
- 6 試合の進行状況により、途中からポイントを変更することがあります。

<審判上の注意>

- 1 本大会は、平成30年度の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則ならびに公認審判員規定により運営します。
- 2 各試合は、通常の21ポイント3ゲーム(延長30ポイントまで)で行います。
- 3 通常の場合、主審及び線審2名にて審判をおこなっていただきます。
- 4 審判員は、大会参加者(代理人可)にお願いします。
タイムテーブル1順目の試合の主審及び線審は、本部からの指名とさせていただきます。
2順目以降につきましては、主審は敗者の方、線審を勝者1名と敗者1名の方とします。
- 5 主審は、競技規則の中の第9条(サービス)、第12条(サービスコートの間違い)、第13条(フォルト)、第16条(プレーの継続、不品行な振る舞い、罰則)の項については特に注意して下さい。
- 6 線審は、担当ラインについてシャトルが「イン」か「アウト」を判定して下さい。
- 7 主審は、線審の判定が明らかに間違ったコールをしたと確認する場合には、線審の判定を変更することができます。
- 8 主審は、得点用紙(スコアシート)の最下段の勝者欄に勝者名のサインを必ずもらって下さい。その際、主審名、終了時刻も必ず記入して本部に提出して下さい。
- 9 抗議、異議は一切認めません。疑問がある場合には、礼儀正しく当該プレーヤーが主審に質問して下さい。
主審が判断できないものについては、本部の競技役員に確認して下さい。

☆上記につきましては、試合前に必ず熟読し、不明な点は本部まで確認して下さい。